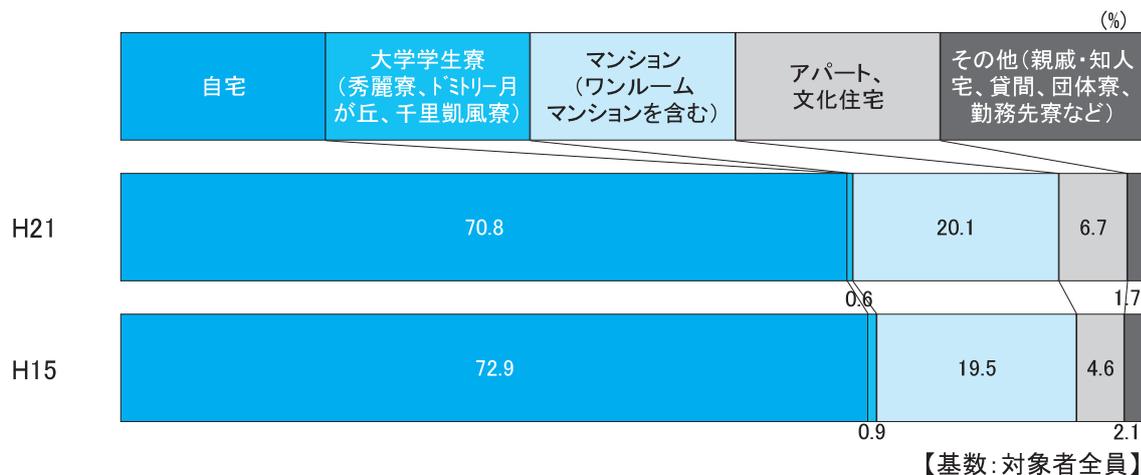


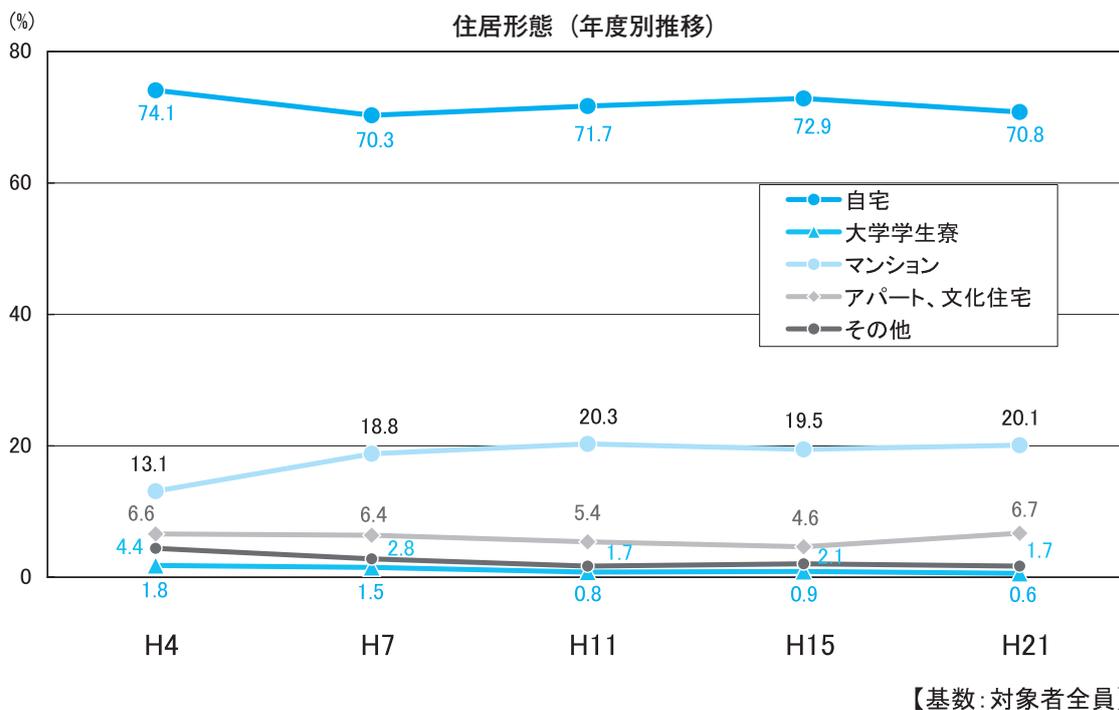
# 1-1 住居形態

Q2 あなたの住居は、次のうちどれですか。(回答はひとつ)



注: 平成15年度は紙上調査のため、無回答あり。以降の質問も同様。

無回答0.1%



## 自宅7割、マンション2割の構成に変化はないが、アパート住まいが微増

本学学生の住居形態をみると、「自宅」から通学している学生が70.8%と圧倒的に多く、次いで「マンション（ワンルームマンションを含む）」が20.1%、「アパート、文化住宅」が6.7%となっている。

「自宅」が7割程度、「マンション」が2割程度という全体の構成比については、平成7年度調査時に自宅生の減少が下げ止まって以来、変化がない。ただしこの間、常に減少傾向にあった「アパート、文化住宅」が今回の調査で微増したことが注目される。

平成15年度調査と比較すると、「自宅」が2.1ポイント減少した代わりに「アパート、文化住宅」が2.1ポイント増加した形だ。遠方から通学する学生は微増しているが、昨今の不況の影響で、マンションではなく比較的安価に賃貸できる「アパート、文化住宅」が微増したとも考えられる。

また、学年別に見ると、1年次生の自宅生が73.2%となっており、2、3年次生が60%後半であることを考えると、平成20年9月のサブプライムローン問題に端を発する世界同時不況が影響していることも考えられる。

また、平成15年度調査は自宅生について、男子が女子よりも多かったが今回の調査では逆転した。